広報かじき
No.353
昭和59年3月号
発行 加治木町
編集 総務課

馬踊り（隼人町・鹿児島神宮）

春の息吹が

木の芽に吹く風もいつしか暖かい南の風に変わりました。

木田の鈴懸馬が家々の繁栄と幸せを祈りながら踊り歩く馬踊り。もとは人形の市ともいわれた初市を迎えると、春はすぐそこに…。

三月ともなると、子供たちも戸外で遊ぶことが多くなり、交通事故に遭う危険性もより高くなります。

新入学（園）シーズンを控え、子供に対する交通安全教育が必要な時期です。

みんなで、子供を交通事故から守りましょう。

◆人口23,088人（＋9）男10,897人（＋10）女12,191人（－1）世帯数 7,793（＋7）59.2.1現在（　）前月比

新学期を控えて

子供の交通事故防止

遊びに夢中になっている子供が、ボールを追いかけて、いきなり道路に飛び出してくる。「キキキーッ！」と、車の急ブレーキの音――子供はときどき大人が相像もつかないような衝動的な行動をとります。その結果、思いがけない交通事故の犠牲者となってしまうことが少なくありません。

周囲に対する注意力がまだ十分でなく、安全に対する知識も不十分、そして心身ともに発達過程にある子供は、今日の交通事情からみて、お年寄りとともに一番弱い立場にあるといえます。

それだけに、保護者、特にお母さんは、子供に対するしつけ教育として、交通ルールや事故防止のための注意事項などを、ふだんから教えることが大切です。

三月ともなると、子供たちも戸外で遊ぶことが多くなり、交通事故に遭う危険性もそれだけ高くなります。また、この時期は、新入学（園）シーズンを控え、子供に対する交通安全教育が必要な時期でもあります。

子供の交通事故の特徴や行動の特性を理解して、具体的に指導し子供を交通事故から守ってください。

子供の交通事故の特徴

子供の交通事故の特徴としては、次のような点が挙げられます。

もうすぐ１年生

犠牲者の二人に一人が未就学児童

中学生以下の子供の死者は八百四十七人。このうち半分以上の五六％（四七四人）が幼児あるいは幼稚園児の未就学児童。なかでも幼児が全体の三一％と多いのが目立ちます。

二時～六時←時間帯別

曜日別→土曜日

交通事故の発生を時間帯別にみると、午後二時から六時の間がいちばん多くなっています。なかでも学校や幼稚園から帰宅後の遊んでいる時間四時～六時が、死者数、負傷者数ともに最も多く、子供にとっては要注意の時間帯です。

また、曜日別では土曜日の事故がいちばん多く、次いで日曜日、月曜日と続いています。

自宅付近（50メートル以内）は要注意

幼児・幼稚園児の事故の多くは、自宅から半径五十メートル以内のところで発生しています。自宅付近が最も多いわけですが、年齢が高くなるにつれて自宅から遠くなる傾向にあります。

〝飛び出し事故〟が最も多い！

路上への飛び出しによる事故が最も多く、全体の六割を占めています。次いで、駐停車中あるいは走行中の自動車の「直前直後の横断」が二八・五％となっています。以下、信号無視、路上での遊び、などとなっています。

一時不停止、安全不確認…

―自転車乗車中の事故―

自転車乗車中の事故原因をみると、一時不停止が最も多く二八％、次いで、安全の不確認二三％、信号無視八％などとなっており、これら三つの原因が全体の約六割を占めています。

（データは「警察庁・昭和五十七年交通統計」）

お母さんが先生です

新入学(園)児の交通安全

新入学(園)まで、あとわずかです。

いつでも、どこでもお子さんが安全に行動できるようにするためには、日常生活のなかでの、日ごろのお母さんの努力こそがものをいうのです。

子供を交通事故から守るために、知ってもらいたいこと、ぜひお子さんに教えてもらいたいことを、まとめてみましょう。

具体的な教え方を

●実際の体験を通して教えることが大切です。

通学、通園時間に合わせて、お子さんと一緒に通学(園)路を何回か歩いて、信号機の見方、横断歩道の正しい渡り方を指導するようにしましょう。

また、同じ道でも、時間や曜日によって交通事情が変わることも併せて教えておきましょう。

●子供には「ああしてはいけない」「こうしてはいけない」といっても、あまり効きめはありません。安全な行動を具体的に教えて実行させ、ほめながら教えると効果があります。

車に気をつけて…

●道路を横断する前に、必ずいったん停止する習慣をつけさせましょう。それには日ごろから、曲り角では必ず止まるなどの習慣をつけて注意深い子供に育てましょう。

●道路で遊ばないように、ふだんから徹底して注意しましょう。

最近では、裏通りを通る車が多くなっています。いっそうの注意が必要です。

生活にゆとりを

また、子供が毎日の生活で時間のゆとりを持つことも、交通事故に遭わないための大切なポイントです。

●寝る前に翌日の準備をすませるように習慣づけ、登校時間に余裕をもたせるようにしましょう。

あわてて登校し、忘れ物に気づいて家に引き返す途中で、事故に遭うケースが多いのです。

帰宅後の遊びにも注意を

●帰宅後、遊びに行ってよい範囲や帰宅時間などを決めて、子供にしっかり守らせるようにしましょう。

●子供に自転車を利用させる場合には、子供の年齢や体力に適したものを選び、ときどきお子さんといっしょに点検や整備をしましょう。

＊　＊

お子さんが、お母さんとの毎日の楽しい語らいのなかで、正しい交通ルールを理解し、お母さんのお手本によって、安全な行動を身につけられるように、温かい愛情をもって指導してあげてほしいものです。

ドライバーの皆さんへ

子供を交通事故から守るためには、ドライバーの皆さんの安全運転と、子供たちへの思いやりが必要です。

ぜひ、次の点を厳守してください。

●子供の〝飛び出し〟は突発的です。子供の姿を見たらスピードを控え目にし、徐行運転を！

●子供が道路を横断しようとしているときは、後続車に合図を！

●発進、後退のときは、周囲に子供がいないかを確認！

●左折するときは、左側に自転車に乗った子供や歩行者がいないことを十分確かめて徐行を！

心ふれあう地域づくりを

社会教育 自立自興 推進大会

健康でたくましい青少年の健全な育成と、心ふれあう地域づくりを考えようと、五十八年度町社会教育・自立自興推進大会が、二月二十日福祉センターで開催され、二百五十人あまりが参加しました。

大会では、ビデオで社会教育・自立自興運動の一年間の活動をふり返った後、父親の役割を学ぼうと開催してきた「父親土曜セミナー」について岩元房友学級長が、明るく豊かな地域づくりを進めてきた「城北地区の公民館活動」について鎌田靖子公民館長が、「弥勒地区老人と子供のふれあい事業」について湯川武雄老人会長がそれぞれ活動発表を行いました。

また、高齢者学級の音楽教室と民踊教室で学んできた学級生による〝コーラス〟と〝踊り〟が披露され、参加者から盛んな拍手を受けました。

講演では、南日本放送の横山欣司ニュースキャスターが、「地域づくりと人の心をうつ話し方」と題し、「今、地球上には四十五億の人間が生活しています。これらをまとめ、心と心をふれあい、結び合わせる手段は言葉です。」

「上手に言葉を使い、必要なことを、必要なだけ、いかに相手に伝えるかということが話上手のこつです。言葉を上手に使って、人間関係を発展させることは地域づくりにつながると思います。地域づくりの基本は言葉です。」と話されました。

言葉が地域づくりの基本（横山欣司氏）

手をつなぎ婦人の輪で

第六回町婦人大会

ぬくもりに満ちた加治木を拓く婦人として、何をなすべきかを語り合い、婦人活動の充実を目指して手をつなごうと、第六回町婦人大会が二月五日、商工会館で開かれ、お母さん方の熱心な討議が行われました。

大会では、「私の考える地域づくり」のテーマで、迫下の米沢アキさんら四人が、自分の生活や、地域の婦人会長などの活動を通じて地域づくりを進めて来た実践例に基き、「一人ひとりが地域で活動することが、地域づくりにつながっている。」と報告しました。

この後、鹿児島女子大学の保坂恵美子講師が、「婦人の生活と福祉課題」と題して、隼人町の婦人を対象に行ったアンケート結果を例に引きながら、「七割以上の婦人が、老後は子供に頼らない。六割の人が、自分の責任で老後を…と考えているが、行き詰まることは目に見えている。一人でも多くの人が人間関係をつくり、老人が地域社会の中で生活してゆける状況を作らねばならない。誰が作るのか。それは婦人が中心になってやらなければならない。」と講演しました。

パネル討議

郷土史探訪 9 加治木島津家屋形跡

慶長十二年、島津義弘公は重富から加治木に移る時、最初は加治木城に入る予定で四十八人の家臣を先発させましたが、幕府の指示など事情があって計画を変更し、今の加治木高校、柁城小学校、郷土館などの敷地から、於里の裏通りまで約五十二アールの広さの土地に屋形を建てて住みました。

この屋形には、東の丸、中の丸、西の丸の三つの御殿がありましたが、この屋形は他藩の城とは違って高い石垣や、天守閣を持たない城として造られています。

これは島津家が、外敵を防ぐには堅固な城によるよりも、武士一人ひとりの心がけに信頼をおく、という方針によるものだと思われます。

義弘公は、元和五年八十五歳で亡くなりましたが、その後島津家久がこの屋形の敷地に西の丸（中納言様屋形ともいう）屋形を建てて住んだということです。

現在は当時の建物は残っておらず、昭和二十八年にわずかに残っていた茅葺の御対面所が戦災で焼失し、昔の面影を留めていません。

加治木地方を治めた加治木島津家は、第十八代の大守家久の第三子忠朗（幼名又三郎）が義弘公の遺命によって創設した一門家です。

加治木島津家は、一門の中でも特に重要な家柄で、本家に相続者がいない時は加治木島津家から入って本家相続をしました。

事実四代の久門は本家相続をして、第二十四代大守重年となり、五代の久方も本家相続をして、第二十五代大守重豪となりました。

もちろんこの屋形も加治木島津家の本居として使われたことは言うまでもありません。

（筆者　林　力夫）

国の発展を願い

建国記念の日奉祝行事

日の丸行進を

建国記念の日の二月十一日、護国神社で建国を祝し、国を愛する心を養い、国の発展を願う奉祝行事が行われました。

式典には、約八十人が参加され奉祝のあと、護国神社から目抜き通りを福祉センターまで日の丸行進し、建国の日を祝いました。

福祉センターで行われた講演では「日本人の心」と題し、山下巌元県社会教育課長が、「日本人は戦後国を思う心、思いやりの心、名誉を重んずる心を失った。これを回復し、国を愛する心を養おう。」と話されました。

歌集「ちぎれ雲」を出版

岡山みち絵さん（西塩入上）

西塩入上の岡山みち絵さん（七十八歳）が、五十年以上も続けてきた歌約四百首をまとめた歌集「ちぎれ雲」を出版され、二月八日山茶花の同人などが集い出版記念会が行われました。

岡山さんは、昭和二年に潮音山茶花に入社。一高女時代には厳しい校則を破って「涙の花」の雅号で少女雑誌に歌を投稿されるなど、歌を生きがいとしてこられており、「子供に残したい。」と歌集を出版されたものです。

ちぎれ雲　恋ならねども
ほのぼのと　あこがれやすき
性をわがもつ　（みち絵）

歌集を手に岡山さん

ハーモニカおじさんが望岳園を慰問

山下巌さんの講演

ハーモニカ独奏で全国の老人ホームを慰問行脚している長崎県佐世保市の福島秀治さん（六十二歳）が一月三十日、一年ぶりに加治木望岳園を訪れ、お年寄りを喜ばせました。

ハーモニカおじさんの望岳園の慰問は今年で六回目。

「九段の母」や「暁に祈る」などみんなからのリクエストにこたえすばらしいハーモニカの演奏が流れるとお年寄りたちは懐しそうに聞き入っていました。

また、全員で「鹿児島おはら節」や、童謡をハーモニカに合わせて歌ったり、寮母さんたちも炭坑節を踊るなど、ハーモニカおじさんと楽しい時間を過ごしました。

精矛神社で訓練

文化財防火デー

文化財を火災から守る

文化財を火災などから守り、国民の文化財愛護思想を高めようと設けられた「文化財防火デー」の一月二十六日、精矛神社で姶良郡西部消防組合（村岡創造消防長）の署員による消火活動の訓練が実施されました。

当日は、山林火災が風にあおられて、神社の東側まで延焼。神社の建物が危険になった、との想定で消防車四台と、消防署員十三人が出動し、機敏な動作で素早い消火活動の訓練が行われました。

『ポケットベル』

利用が加治木でも

外出者との通信連絡が簡単な操作で迅速にできる『ポケットベル』サービスが、一月十日から、加治木町、国分市、姶良町、隼人町でも利用できるようになりました。

▽会社から、サラリーマン、サービスマン、巡回技術員などのかたがたへの連絡に便利です。

▽外出の多い医師、弁護士、会計士のかたがたも安心して外出先でお仕事ができます。

▽官庁、団体の幹部、会社役員のかたがたも、ポケットベルがあれば外出先から会社や本部に連絡しなくても、予定をかえて行動することができます。

今度新しく二個呼び出し番号式サービスが導入され、一層便利さが高まり、より有効に、より効率的にお使いいただけるようになりました。

一度お試しになってみてください。

料金＝保証金　二万円
月額使用料二千九百円
二個呼び出し番号式
月額二百五十円加算

◎お問い合わせ先は、電話〇九九二―五七―二〇〇〇番です。

あきカンは
クズかごへ

『金山道路』105年ぶりに復活？

＝金鉱石が加治木港から＝

伊佐郡・菱刈町で住友金属鉱山が採掘する金鉱石が、加治木港から愛媛県・新居浜市にある製練所に積み出されることが決まり、〝金山道路〟が百五年ぶりに復活（？）することになりました。

『金山道路』というのは、明治十二、三年ごろ島津家の手で、当時の加治木海岸の港口を起点として、横川・山ケ野金山に通じる道路が開かれ、この道を通って金鉱石が運ばれ、加治木港（当時は〝舌出し〟と呼ばれていた）から積み出されたことから、この道路を通称『金山道路』または『横川道路』と呼んでおり、途中の井手向（小山田）には「金山橋」という橋も残っています。

井手向（小山田）に残る金山橋

活用が期待される加治木港

加治木港の活用に期待

住友金属鉱山では、鉱山から一日二百トンづつ加治木港まで輸送し、五日に一回一千トンを加治木港から船で積み出すことにしています。

東町長は「加治木港は現在、セメント・砂などの建設資材や油などが荷揚げされていますが、金鉱石の積み出しが始まるのを契機に今後農畜産物などの基幹作物の積み出し港として、また、テクノポリス関連の原材料の受け入れ港としてなど海上輸送の拠点として活用されるよう期待しています。」と話されました。

札立・鶴原・市野に公民館が完成

地区民一人ひとりの力を結集し、地域づくりなどの「話し合いの場」となる公民館が、札立、鶴原、市野の三自治会で建設され落成式が盛大に行われました。

札立自治会（市来明徳会長）では、五十八年一月建設委員会を設置。自治会の百四十世帯に呼びかけ、土地購入から始め、総事業費一千四百四十九万五千円（うち工事費四百五十九万五千円）で完成。五十九年一月二十九日落成式が行われました。

鶴原公民館（向江重夫自治会長、会員二十七世帯）と市野公民館（鹿島一人自治会長、会員十二世帯）は、国の地区再編農業構造改善事業の指定を受け、地域づくりの拠点として建設が進められ、鶴原公民館が五十八年十月に、市野公民館が五十九年一月完成しました。

総事業費は、鶴原が五百三十万円、市野が三百二十三万八千円となっています。

札立公民館

鶴原公民館

市野公民館

ふくしの窓口 ⑫

老人ホームの種類と入所申込みの手続き

老人ホームは、老人福祉法に規定する老人福祉施設として、①養護老人ホーム、②特別養護老人ホーム、③軽費老人ホームがあります。

入所対象者

①養護老人ホーム…身体上、精神上、環境上及び経済上の理由で、居宅での養護が困難な老人

②特別養護老人ホーム…身体上精神上の著しい障害（欠陥）があるため、常時介護を必要とするが、居宅で介助などを受けることが困難な老人。

③軽費老人ホーム…60歳以上の健康状態にある老人が、家庭環境や住宅事情で自宅で生活できないため入所し、生活費等の低額料金を全額負担できる人。

入所手続き

①と②の老人ホーム入所は、町福祉課へご相談ください。

③は直接施設へ申込みを…。

心配ごと相談

毎週木曜日・午前中
福祉センターで…。
お気軽にどうぞ。

四十二チームが健脚競う

第十七回町内一周駅伝大会

十七回目を迎えた町教育委員会主催の町内一周駅伝大会が、一月二十九日開催され、四十二チームが七区間、十九・七二キロに健脚を競いました。

今年の大会には、五十歳以上が八名も出場され、若者に負けじと堂々の走りっぷりを披露。また一般の部で大会史上初めての女性ランナー（篠崎裕子さん＝役場亀さんチーム）も登場し、沿道の観衆から盛んな拍手を受けました。

結果は次のとおりです。

〔**一般の部**〕

優勝…姶良西部消防（一時間十分二十七秒）二位…横山酒店（一時間十分五十八秒）三位…加治木町役場（一時間十一分三十秒）

一斉にスタート（加治木高校グラウンド）

〈区間賞〉一区厚地和彦▽二区有馬久光▽三区山内文彦▽四区久木田浩徳▽五区安藤政司▽六区岩元敬吾・松野信作▽七区笹峯勉

〔**高校の部**〕

優勝…加治木高陸上部A（一時間七分二十九秒）二位…加治木工陸上部A（一時間八分一秒）三位…加治木工野球部A（一時間十三分一秒）

〈区間賞〉一区橋口健二▽二区南晋吾▽三区大屋良彦▽四区小屋敷悟▽五区榎本洋史▽六区森田芳久▽七区浜田亨

〔**中学生の部**〕

優勝…加治木中陸上部A（一時間十三分二十二秒）二位…加治木中サッカー部B（一時間十七分四十一秒）三位…加治木中陸上部B（一時間二十分十三秒）

〈区間賞〉一区中村伸一▽二区徳久謙一郎▽三区長谷修▽四区佐藤大介▽五区市来原久己▽六区福森秀敏▽七区外山光一

沿道の声援を受けて……

最高齢者は６６歳

弥勒・大浜政徳さん

町内一周駅伝大会初出場の大浜政徳さん（六十六歳）は、今大会出場者中最高齢。

「退職後、健康保持のためジョギングを始めて五年目」と語られる大浜さんは、朝六時半に家を出て、一日約十三キロを走る事を日課としています。

走ることによって血圧も正常値になり、五キロも減量されたとか。

大会では、加治木走友会Bチームのアンカーとして、二・六四キロに健脚を披露しました。

大浜さんは、「走ることはいいことだ。長く続けることが大切です。ぜひみんなに勧めたい。」と話されました。

親子ペアなど２６チームが

第３回バトミントン大会

町教育委員会主催の第三回バトミントン大会が、二月十九日加治木工業高校体育館で開かれ親子ペア、夫婦ペアなど二十六チームが参加して熱戦を展開しました。

大会は、経験の有無によって初級、中級、上級の三クラスに分かれ、ダブルスで行われました。

結果は、次のとおりです。

▽初級

優勝　堂森秀司・サトミ組

二位　浜田耕二・スエ子組

二位　村山美津子・勢津子組

▽中級

優勝　境田昭久・坂口宙美組

二位　大久保英子・郡山秀樹組

▽上級

優勝　鈴々木昭一・有馬道子組

二位　柳川公寿・岩山博組

シャトル（羽）を追って

フォークダンスの楽しさを

柁城小学校の体育館で三月六日まで、五回にわたって、フォークダンス「初心者講習会」が開かれ集まった愛好者たちは、軽やかなステップを踏んでいました。

これは町教育委員会と、昨年五月発足した加治木フォークダンス協会（松田逸郎会長、会員五十人）が、フォークダンスの楽しさを知ってもらおうと行ったもので、県フォークダンス連盟の久永享先生らの指導で、「娘さん踊りましょう」「カイン」などの曲を子供から大人まで熱心に練習されていました。

加治木フォークダンス協会の定例会は、毎週火曜日午後七時から九時まで柁城小学校体育館で行われています。あなたもぜひ……。

リズムに乗って……

〝元服〟を祝い立志の集いが

錦江３地区・西別府地区

町の「青少年自立自興運動モデル地区」として青少年の健全育成活動を地域ぐるみで進めている、錦江第三地区と西別府地区では、十四歳になった子供達を対象に〝立志式〟を行いました。

錦江三地区（岩崎貞光館長）では二月十日、自立自興館に十四歳を迎えた二十五人（男九人、女十六人）と父兄約四十人が集まり、〝立志の灯〟を前に、一人一人立志の誓いを述べました。

式では、岩崎公民館長が「この赤々と燃える神聖な灯を前に、立志者は自分の姿を映し、将来への志を立ててください。」と呼びかけ立志者へ分火。立志者は、「私たちは、地域の仲間入りをしたことを自覚し、規律のある生活をおくることを誓います。」「私たちは、将来進むべき道をはっきり定め、その実現のために努力することを誓います。」などと立志の誓いを立てました。

東國雄町長は、「鉄は熱いうちに打てという言葉がありますが、中学校の勉強は、中学校でしか出来ません。今をおいてその時期はありません。そのことを認識し、今を大事にして欲しい。」と激励しました。

また、西別府自立自興館でも十八日、十七人が、前畠春雄公民館長や町教育長などを前に将来の目標など〝立志の誓い〟を述べ、激励を受けました。未来を担う青少年を健全に育成しましょう。

西別府地区立志式

錦江３地区立志式

青少年の豊かな心を育てよう ⑪

心身ともにたくましく

非行問題は先進国に共通の悩み

青少年の非行問題は、わが国ばかりでなく、先進国が抱える共通の悩みであるといわれています。そこで、総理府の「青少年と家庭に関する国際比較調査」（昭和五十七年）をもとに、しつけの問題を諸外国と比べてみましょう。

日本の親と外国の親

しつけは「学校や社会より家庭が中心」という点では、日本の親も外国の親たちも〝そのとおり〟と答えています。

しかし「親のできるしつけには限度がある」と外国の親のほとんどが答えているのに比べ、わが国では約半数の人しか〝限度〟があるとは思っていません。つまり、日本の場合、親の二人に一人は家庭中心のしつけで十分であると考えているわけです。

一方、親子が一緒に行動する割合をみますと、わが国は先進国の中では最も低くなっています。特に、室内ゲームとか旅行、それに子供の勉強をみることについては、三人に一人しか行動を共にしていません。

以上、二つの結果を併せ考えてみると、「家庭でのしつけで十分」としながらも、日本の家庭では、親子が一緒にいる時間が少ないことが分かります。

また、親がふだん子供に言い聞かせている内容も、お年寄りなどへのいたわりや公衆道徳の面でわが国は諸外国に比べて不十分です。公衆道徳の欠如は、周りの人に迷惑をかける一方、実社会に出てから、本人自身が困ることになります。子供の時に直しておきたいものです。

家庭・学校・地域社会

子供のしつけは、家庭が中心となり、学校・地域社会が補完的に対応するのが理想的です。家庭でのしつけがうまくいかず、対応しきれない場合は、変に隠したりせず、学校や地域の相談施設、警察などに相談するようにしましょう。

病気を治すには早期診断・早期治療が有効ですが、青少年の非行も同じことがいえます。親の手に余る場合は、できるだけ早く専門家に相談してください。

地区ごとに「おはなしのじかん」を

＝町立図書館がお手伝い＝

町立図書館では、三年前から毎週水曜日を「おはなしのじかん」として、紙芝居や絵本の読み聞かせ及び映画など実施しています。

しかし、図書館から遠いところの子どもたちは、図書館までくることが大変困難であり、見たくても見にこれないのが現実です。

そういう地域の子どもたちに少しでも利用をはかろうと「出かけるおはなしのじかん」を昭和五十九年度から実施したいと考えています。

次の実施要項により、町立図書館の職員が出かけて実施しますので、各地区の子ども会や地区公民館では、年間行事計画の中に是非「おはなしのじかん」をとり入れてくださるようお願いします。

絵本の読み聞かせ

「おはなしのじかん」実施要項

一、目的……親子の読書は、家庭内の親子の対話を促し、それにより健全な子どもが育つのではないだろうか。

幼児に本を読んでやり、紙芝居を見せることによってその楽しさを分からせ、豊かな情操をつくり出すことを目的とする。

二、対象……小学生および幼児を対象とした、地区子ども会（親子会）、地区公民館単位での活動を対象とする。

三、期間……各地区単位で月一回を限度として、年間を通して数回でもよい。

四、時間……三〇分程度（実施時間帯については地区の都合にまかせる）

五、場所……地区内の公民館および会長宅又は会員宅。

六、申込方法……①年間を通して計画するときは、年度当初に計画書を町立図書館へ提出する。

②必要に応じて実施するときは、一週間前までに町立図書館へ連絡する。（電話でもよい）

③計画又は実施日が他地区と重なるときは、町立図書館で調整する。

七、その他……人数は少数でもよいが、できるだけ多数参加できる時間を選んで計画されることが望ましい。

また、親も参加できるよう配慮されたい。

※町立図書館所在地と電話番号

加治木町仮屋町二五〇番地

〇九九五六―②―二六〇五

薬草

知られざる効き目 ⑥

ツワブキ

ツワブキは、海から三里（約十二キロメートル）離れたら生えない、と言われており、潮風を受けて育ちます。内陸奥地には自生せず、反面、陽光と潮風の強い野間池や佐多岬では、無数に、そしてジャンボに茂っております。

その独特な風味は、昔から庶民に愛好され、安あがりで身近な健康食品として「ツワの一日干しュ、吊イ大根と煮しめ」と、ほほえましく伝承されています。

ツワブキは小魚と同じくらいカルシウムを含んでおり、インスタント食品で崩れかかった子供の骨を丈夫にしてくれます。

虫（ぶと、か）刺されに生葉をもみ汁をつけるとかゆみが治り、ねぶと、ちょう、乳房炎に生葉をあぶってはると効果があり、食あたり、魚中毒に生汁を飲ませると食べたものをすぐ吐き出します。

雨戸などで激しく指をはさんだ場合、生葉を火であぶり、もんで指に巻きつけると小一時間もすればケロリと治ります。火傷・湯傷も同じ方法ですぐ痛みがとれ、化膿せず、傷あとが残りません。

春の若茎は湯通しして、みその一夜漬けにします。みその香と、薄い塩味、ほろ苦い山の香が朝の食欲をそそります。

生葉を刻み、風呂に入れ入浴しますと、ご婦人の肌がすべすべとなりつやを増します。家庭平和につながれば幸甚……。

庭に数株植えておきますと何かと重宝、冬にはあでやかな花が咲き、ひなびた風情を添えます。

静かなる　月日の庭や
石路の花　　虚子

（筆者　上萩大治）

※無断転載は、ご遠慮ください。

竜門句会

鷺翔つや末黒の堤匂はせて　能勢真砂子

ものの芽のゆるぶに今朝の水硬し　横山　江南

池の面に木影うごかず冬の蝌蚪　鶴田　耕

まんさくや庭にひらめく尉鶏　井之上透山

襲裸身釉薬かけて日脚伸ぶ　川崎　黒兎

寒天へ響く門扉の軋る音　加藤　白柳

新海苔をかざせば聞こゆ潮の音　上野　洸

野火幾重かなたに淡く桜島　柳田　稔

祝ぎの座の赤き装束春立てり　古江　重美

肌締まる風心地よし遠雪嶺　高木　正男

ちちと鳴く小鳥寒げや霜の朝　宮川　思川

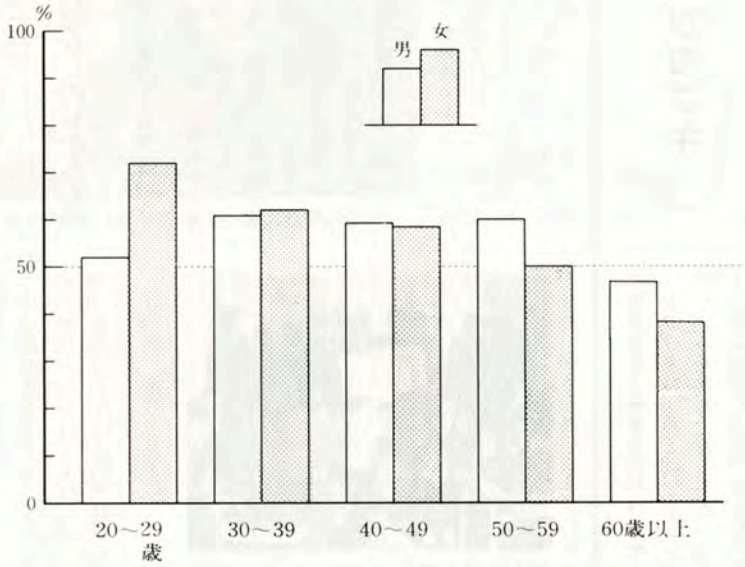
もっとスポーツに親しもう

》体育・スポーツに関する調査《

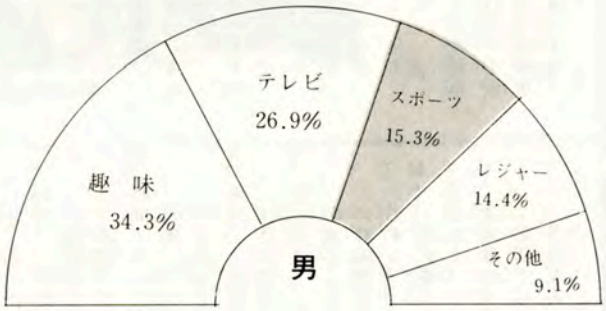
町教育委員会・体育保健課では昨年十月、自治会長さんがたのご協力を得て、町内の二十歳以上の男女八百人を対象に、「体育・スポーツに関する調査」を実施しました。

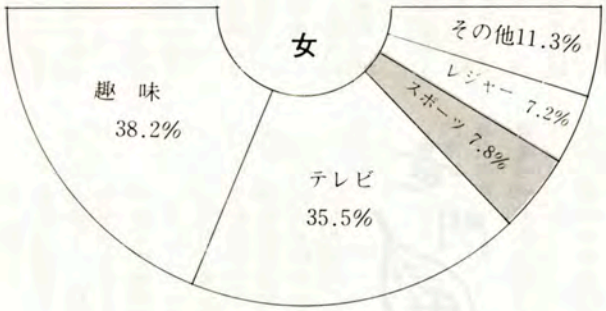
結果は、半数以上の人が、「ふだん運動不足だ」と思っていますが、「自由時間をスポーツに使っている」と答えた人は約一割でした。もっとスポーツに親しみましょう。

問　自分自身、ふだん運動不足だと思う人は？

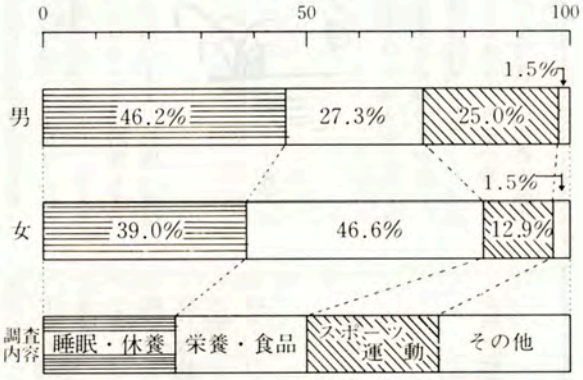


問　自由時間をどのように使っていますか？





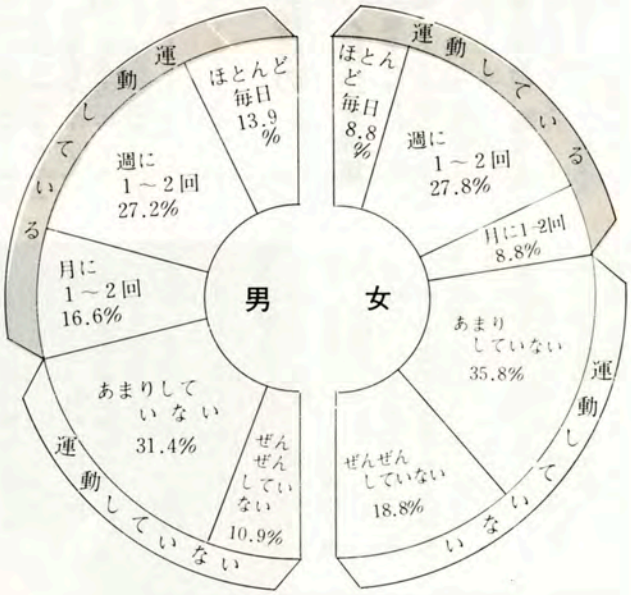
問　健康や体力維持のため日ごろ心がけているものは？



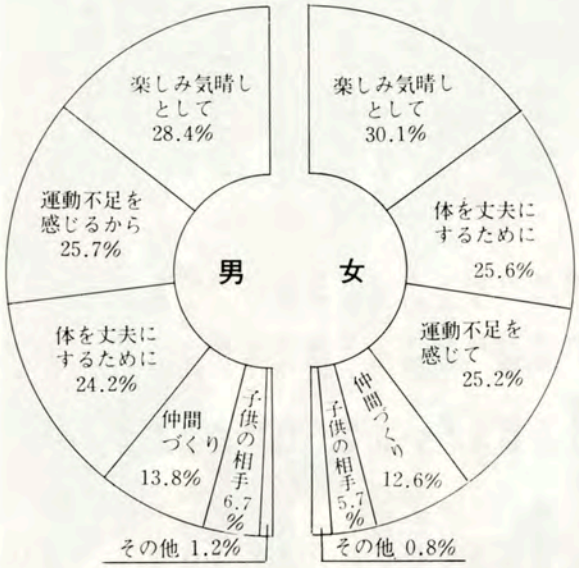
問　この１年間に行ったスポーツは？（ベスト３）

順位＼男女別		男	女
軽スポーツ	1	キャチボール 19.9%	体操 10.9%
	2	ジョギング 散歩 17.6	ジョギング 散歩 16.6
	3	体操 10.9	バトミントンの羽根の打ち合い 12.6
野外スポーツ	1	遊泳 25.0	遊泳 26.2
	2	つり 20.6	登山 14.4
	3	ゴルフ 12.3	ハイキング 14.4
競技的スポーツ	1	ソフトボール 33.6	バレーボール 41.1
	2	バレーボール 14.0	陸上競技 15.2
	3	野球 13.0	バトミントン 13.4

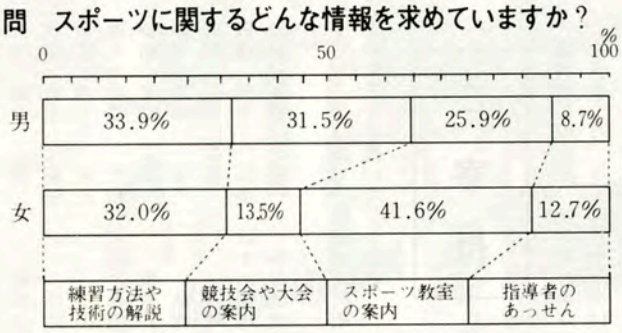
問　あなたはスポーツや運動をしていますか？



問　あなたがスポーツや運動をするのはどんな理由から？



問　スポーツに関するどんな情報を求めていますか？



問　将来やりたいスポーツは？（ベスト3）

男女別 / 順位		男		女	
軽スポーツ	1	散歩・ジョギング	22.5%	体操	15.6%
	2	キャッチボール	12.1	ダンス	14.4
	3	テニスボールの打ち合い	12.1	散歩・ジョギング	13.6
野外スポーツ	1	つり	13.8	つり	41.7
	2	登山	12.0	ハイキング	15.4
	3	キャンプ	11.2	キャンプ	13.5
競技的スポーツ	1	ソフトボール	19.4	バドミントン	20.7
	2	テニス	12.8	テニス	18.8
	3	卓球	7.8	バレーボール	15.0

この調査は、町民の体育・スポーツの振興に役立てるため、皆さんが健康・体力・余暇時間の活用、スポーツ活動についてどんな考えを持っておられるかを調査したものです。

「町野球場、陸上競技場、テニスコートなどのスポーツ施設の整備、充実を」という意見や、町民体育祭についての要望など多くのご意見もいただきました。

今後、町社会体育振興のため活用させていただきたいと思います。

調査にご協力いただきありがとうございました。

だれでも いつでも 学べる西高へ

鹿児島西高等学校では、五十九年度の通信制の新入生を次のとおり募集しています。

▽修学年限　四年以上

▽入学資格

イ、中学校卒業者

ロ、高校中退、旧制中学校、高等女学校、青年学校の卒業者および修了者（相当学年に入学）

ハ、高等学校の卒業者で、もっと教養を高めたい人、または一部の科目の学習をしたい人

▽学　科

普通課（一般の入学希望者）

衛生看護科（技能連携している準看護学校の入学生）

▽募集期間

五十九年三月二十一日から五十九年四月十四日まで

▽入学許可

書類審査による。学力検査は行わない。

▽通信教育生徒の特典

新入生には、教科書、学習書が無償給与されます。

▽入学案内書などの請求

一部につき郵送料として二百四十円切手を添えて、本校に申し込んでください。（直接事務室にとりにきても良い。）

▽願書提出および問い合わせ先

〒八九〇

鹿児島市下伊敷町四四―四

鹿児島県立鹿児島西高等学校

通信制入学係

（電話〇九九二―二九―三七四四）

職業訓練校の四月入校生を募集

鹿児島高等職業訓練校のほか、県内十六か所にある県認定職業訓練校では、ただ今、四月入校生を募集しています。

県認定職業訓練校は、事業主の団体が県知事の認定を受け、その雇用する従業員に対して、職業訓練法に定める一定の基準に従って職業訓練を行うところです。

入校生は、就職した事業所から週に一日または、二日訓練校に通学して訓練を受けます。

入校についての詳しい事は、お近くの公共職業安定所および県職業訓練課、または、次のところにお問い合わせください。

▽鹿児島市住吉町一五―一一

鹿児島県職業能力開発協会

（電話〇九九二―二六―三二四〇）

無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも相談に応じています。お気軽にご相談ください。

秘密は固く守られます。

▽宮城俊治

港町一三一番地一二一

（電話　三―三七八七）

▽田中重男　仮屋町六四

（電話　二―二二六〇）

▽中摩多美子　反土二七五六

（電話　二―二七六八）

うぶ声

出生児	保護者	
上野　浩昌	栄一	自治会
末永謙太郎	盛幸	蔵王団地
和田　愛	卓磨	西諏訪
浮田　実季	勝一	西塩入下
内野　翔太	良昭	竹下
川野　雄広	浩一	高井田
蓑田　愛	美朝	岩穴口
大宮路　洋	昇	高井田
木山　雄翔	仁	辺川下
山之内裕杏	正己	赤坂
山下　修	優	春日団地
西　乃輔	俊郎	楠園
妹尾　康彦	正信	田中
倉又　理	喜久夫	蔵王団地
迫村　公志	正秋	上浜
川路　祐	政文	鞍掛
白尾　元春	邦春	口ノ町
宮内　幸平	香	萩原
		春日団地
仮屋　雄介	雄二	東諏訪
大園　育恵	親正	田中
大園　耕平	親正	田中
増丸かおり	智和	赤坂
徳富　美幸	幸一	東諏訪
森　幸子	俊則	萩原
宮田　佳奈	浩二	須崎
取違　美幸	辰美	日木山団地
今村　尚貴	栄一	春日団地

▽二月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円　向江町　新　トキ（夫国義八二）

三万円　中　野　有村サダ（夫喜太郎八六）

三万円　永　原　堂森　正（母フミ六八）

二万円　萩　原　犬童ミキ子（母小倉トモ九一）

一万円　春日団地　柳村トメ（夫義雄五六）

三万円　中　野　坂元政義（母マサエ六一）

三万円　迫　上　竹崎光男（母マツ八八）

三万円　中　野　本中野重則（母イセマツ八二）

二万円　竹　下　四元喜代子（母サミ八八）

三万円　須　崎　小宮路ケイ子（母室園クニ六六）

四万円　弥　勒　岩元ミドリ（長女小川初美三七）

一万円　新　町　入佐クニ（夫己年七八）

三万円　柳　田　市薗佐吉（妻アキ七四）

一万円　西塩入下　石井成夫（母エダ九四）

十万円　岩原西　小安幹雄（伯母花卒礼シヲミツ九八）

三万円　永　原　永原敬二（妻スミエ七二）

五万円　萩　原　法元徳子（母フミ七三）

三万円　東諏訪　丸目輝久（母ヒロ九一）

＝国民年金協議会へ＝

二万円　永　原　永原敬二（スミエ）

＝町育英奨学資金へ＝

二万円　永　原　堂森　正（フミ）

三万円　弥　勒　岩元ミドリ（小川初美）

二万円　永　原　永原敬二（スミエ）

▽二月二十日までのご寄付を掲載いたしました。